

平成30年度 第6回高田区地域協議会 次 第

日時：平成30年9月10日（月）

午後6時30分～

会場：高田公園オーレンプラザ 会議室

1 開会

2 議題等の確認

3 報告

(1) 自主的審議事項 雁木の保存を考えたまちづくりについて

4 議題

(1) 地域課題の検討について

5 事務連絡

6 閉会

■今後の予定

10月15日（月）地域協議会（高田公園オーレンプラザ）

11月19日（月）地域協議会（高田公園オーレンプラザ）

12月17日（月）地域協議会（高田公園オーレンプラザ）

平成30年8月21日

上越市長 村山 秀幸 様

高田区地域協議会
会長 西山 要耕

雁木の保存を考えたまちづくりについて（意見書）

上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、雁木の保存について自主的に審議した結果、下記のとおり提出いたします。

記

雁木は、雪国高田で生活していくために必要不可欠なものであると同時に、居住者が私有地を提供し合いながら、公共の目的で活用するという、先人から受け継がれてきた互助の精神で成り立っています。そのような歴史と文化とともに、親から子へ、子から孫へと世代を超え、みんなで雁木を守ってきた経緯があることから、雁木には「高田の心」が凝縮されていると言っても過言ではありません。

この「高田の心」というべき、高田らしさを生み出す貴重な遺産である雁木を後世に残していくためには、保存に留まらず、雁木の活用も視野に入れたまちづくりを行っていく必要があると認識しております。

しかしながら、雁木を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、現状は雁木の減少を食い止められていない状況です。これらの現状を打開するためには、市の更なる積極的対応がなければ、日本一の総延長を誇る雁木の衰退が今後も進むのではと心から危惧しております。

つきましては、その解決策を以下のとおり提案します。

1. 上越市がリーダーシップをとり、次のことを行う。
 - (1) 歴史的文化的遺産である雁木の大切さを認識してもらい、後世まで残していくという市民の機運を高めるため、市として「雁木の保存宣言」を行う。
 - (2) 長い歴史の中で守り続けてきた雁木を、今後も継続し保存活用していくために必要な「基本計画」及び「実施計画」を策定する。
 - (3) 雁木の保存に関する明確な目的や制限行為などを記した「規則」を制定する。
また、雁木の柱や外壁等における形状、大きさ、色彩などについて、現状ではバラバラであることから、雁木の保存及び景観に関しての統一した「ガイドライン」を制定する。
2. 上越市として、雁木が比較的良く残存している地域を「モデル地区」または「優良地区」として指定し、重点的に整備し、活用する。
 - (1) 雁木が残存している地域を「モデル地区」または「優良地区」として指定し、財政的支援を含めた整備や活用に必要な諸施策を作成、実施する。
 - (2) 雁木の保存を実現するため、上記諸施策の作成、実施する際は、関係町内会等と連携するとともに、雁木に関わる市関係部局の横断的体制により、保存に向けた必要な対応を講じる。

高田区地域協議会（平成 30 年 8 月 20 日：第 5 回）

地域課題に関するグループ討議で出されたテーマ

区分（テーマ）
中心市街地
空き家対策
高田公園
住み良いまちづくり
観光
儀明川、青田川
買い物難民
防災対策

高田区地域協議会（平成30年8月20日：第5回） 地域課題に関するグループ討議検討結果

グループ	区分（テーマ）	内容（具体的に）
A グループ	中心市街地（本町3、4、5丁目）	本町3、4、5丁目では、コンビニもスーパーもなくなり、高齢者を中心に「買い物難民」となる危険性がある。こういう状況では町の中に人が住めなくなる。また、本町商店街駐車場の有料・無料化の問題もある。
	空き家対策	防犯・防災の問題でもあり、街自体に若者が住めるかどうかという観点にまで関係してくる。都市計画を含めた検討も必要。
	高田公園	公園全体の整備計画を検討する必要がある。 （※附属中学校の校舎建替え、公園内における既設団地・アパートの問題、高田城跡など）
	住み良いまちづくり	様々な課題（高齢化、人口減少、雪の問題など）がある中で、「住み良いまち」として生きていくためには、どうしたらよいかについて、また「住み良いまち」とは何かについて真剣に考えていく必要がある。
B グループ	高田公園	ビジョンを明確にする。長期的な取組（高田公園の名称変更を含む）を考えていく。
	町屋の空き家活用	街中の空き家をどうするか。空き家を購入する外国人が増えている。どう対応していくか。
	観光	観光客の寄り場所がない。観光客の期待外れとならないために、おもてなしの充実を図る。
	儀明川、青田川	景観を良くするための整備活用を行っていく。
[共通事項] 課題解決に伴い、市関係部局からは横断的体制で取り組んでほしい。		
C グループ	高田公園	公園内には行政施設等が設置されているので、これ以上施設が建たないようにする必要がある。既存施設の整理、公園のランドデザインを作成する。
	空き家対策	市が空き家を買取り、定住する医者には無償で貸与し、部分的に駐車場として活用する。
	買い物難民	年寄りには買物に行く手段がないため、「足」の確保として、デマンドバスの送迎を検討する。
	防災対策	最近の異常気象による豪雨対策について、市からハード面とソフト面で対応してもらう。
	中心市街地の活性化	中心市街地ではここ2、3年で観光客が増えている。それに関連した活動を民間（住民）で行っているが、市の動きが見えない。高田をアピールする際は市と住民の連携は欠かせない。